

国際ロータリー第 2780 地区

横須賀北ロータリークラブ週報

2017～2018 年度



ロータリー:
変化をもたらす

例会日 毎週火曜日 12:30～13:30
例会場 かながわ信用金庫追浜支店 3階 横須賀市追浜本町 1-28
 TEL 046 (866) 1515
事務所 鈴木ハイツ 2F 横須賀市追浜町 3-22-202
 TEL・FAX 046 (866) 1801
 URL: <http://www.yokosukakita-rc.jp/>
 E-mail: info@yokosukakita-rc.jp



会 長 石井 伸二 副 会 長 千葉 茂
 幹 事 山田 秀雄 会 報 委 員 長 御子柴智義

第 2706 回 2017 年 12 月 5 日『火曜日』横須賀北 R C

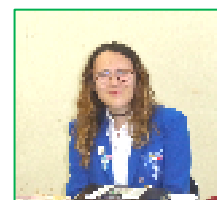
点 鐘
斉 唱 「君 が 代」
合 唱 「奉仕の理想」
唱 和 「四つのテスト」
司 会 石井 伸二 会長
ゲスト 三木証券(株) 投資情報部 投資情報課
 係長 佐藤 雅己 様
 青少年交換学生 エリザ・カリヌ・アングル さん



佐藤 雅己様

ビジター

入会式 前島 豊 会員
誕生日祝 濱田 耕輔 会員 (12月 4日生)
 竹永 薫 会員 (12月 5日生)



エリザさん

入会記念日のお祝い

「出席報告」

(本日)12月5日

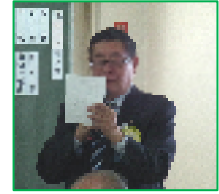
総数	出席対象数	出席数	出席率	メイクアップ	計	修正出席率
24名	24名	17名	70.83%	2名	19名	79.17%

(前々回)11月14日

総数	出席対象数	出席数	出席率	メイクアップ	計	修正出席率
23名	23名	13名	56.52%	7名	20名	86.96%

「メーキャップされた会員」

- 11/15 公共イメージセミナー 前川永久会員
- 11/21 クラブ管理運営委員会 小菅健史会員
- 11/21～23 ローター研究会 伊与田あさ子会員
- 11/25 米山学友会 伊与田あさ子会員
- 12/2 青少年交換校エンターション 前川永久会員



「ニコニコBOX」

- 三役 三木証券投資事業部 佐藤様 スピーチ宜しくお願い致します。御子柴雑誌委員長「ローターの友12月号」紹介宜しくお願い致します。エリザさんよろこばしくお願い致します
- 前島 豊会員 三木証券(株)佐藤雅己係長 卓話宜しくお願い致します。前島 豊さん入会おめでとうございます
- 福嶋義信会員 濱田耕輔会員 お誕生日をお祝い頂きまして。72歳になりました。
- 御子柴智義会員 前島さんご入会おめでとうございます。新会員加入で嬉しいことです。濱田会員、竹永会員 お誕生日おめでとうございます
- 小菅健史会員 前島様入会おめでとうございます。今後とも宜しくお願い致します。三木証券 佐藤雅己様 スピーチ宜しくお願い致します。濱田会員、竹永会員 お誕生日おめでとうございます。エリザさんよろこばしくお願い致します
- 竹永 薫会員 本日は前島会員入会おめでとうございます。そしてエリザさん三木証券(株)佐藤様よろこばしくお越し頂きました。スピーチ宜しくお願い致します。また誕生日祝いありがとうございました
- 伊与田あさ子会員 三木証券(株)投資事業部投資情報課係長 佐藤雅己様 本日はお話宜しくお願い致します。前島 豊様ご入会おめでとうございます。濱田会員、竹永会員 お誕生日おめでとうございます
- 前川永久会員 三木証券(株)佐藤様 本日はよろこばしくお越し頂きました。スピーチ宜しくお願い致します。前島様ご入会おめでとうございます
- 高田源太会員 三木証券(株)佐藤様 青少年交換学生エリザさん よろこばしくお出で下さいました。御子柴会員 佐藤様 スピーチ宜しくお願い致します
- 飯倉正俊会員 前島様 入会おめでとうございます。濱田先生、竹永さんお誕生日おめでとうございます。御子柴さん「ローターの友」紹介宜しくお願い致します
- 平林祐樹会員 三木証券(株)佐藤様 本日は宜しくお願い致します。濱田先生、竹永さんお誕生日おめでとうございます。御子柴委員長「ローターの友」ご紹介宜しくお願い致します。前島さんご入会おめでとうございます

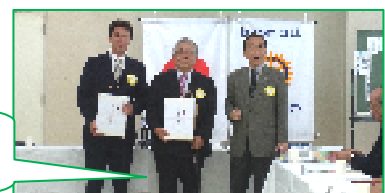


ニコニコBOXの合計は21,000円(累計250,000円)
ご協力有難うございました。次週も宜しくお願い致します



入会式
前島 豊会員

誕生日祝
竹永 薫会員 濱田耕輔会員



「会長あいさつ」

- ・2020-2021年度国際ロータリー第2780地区がバナー・パトナー候補者が告知されました。鎌倉ロータリークラブ 久保田 英男 会員です。当クラブの移動例会パソコン教室に参加して頂きご指導を頂きました
- ・新年家族会 今日現在28名の参加者となっております。理事会終了後エーザさんと一緒に23日からお世話になるホストファミリーのお宅へ伺いご挨拶をして参ります。この方にも新年家族会のお誘いをしようと思っております

「幹事報告」

◎ロータリー日本事務局より12月のロータリーレートは1ドル112円（現行114円）となります

◎がバナー事務所より「第6回日台ロータリー親善会議」のご案内が届いております

日 時 3月 1日（木）

会 場（台湾・高雄市）漢来大飯店 9階 国際ホール

ご参加される会員の方は事務局まで

◎第1グループ 三役会のご案内

日 時 12月12日（火）13：40～

場 所 かながわ信用金庫追浜支店（横須賀北ロータリークラブ 例会場）

◎「第2780地区第1～第4グループ合同新会員の集い」開催のご案内

日 時 2018年1月13日（土）17：30～（17：00より受付）

場 所 藤沢商工会館ミナパーク 6階多目的ホール

対象者 入会3年以下の新会員・各クラブ会長・幹事・クラブ増強委員会、他

参加費 5,000円（飲食代・会場費等）

テーマ 「楽しくなければロータリーじゃない！」

講 師 菅原 光志 パストがバナー（鎌倉ロータリークラブ）

内 容 第一部 研修会 17：30～18：40

第二部 懇親会 18：45～20：10

◎回覧 ①横須賀西ロータリークラブ・横須賀南西ロータリークラブより週報

◎本日例会終了後定例理事会がございます。関係理事の方は宜しくお願い致します

「委員会報告」

- ・一般社団法人ロータリーの友事務所より2016-17年度事業報告書が届いております

「スピーチ」

〈Rの友12月号紹介 御子柴 智義 雑誌委員長〉

横 P3 RI 会長メッセージより平和な世界に向かって

横 P7-13 続けることで見えてくること

奉仕活動にみる時代の移り変わり

横 P34 2017—18年度地区大会略報

第2780地区 第2730地区 第2500地区 第2830地区

縦 P4-8 人はがんとどう向き合うのか 日本対がん協会会長 垣添 忠生

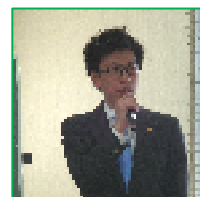
（とても感銘を受けました是非お読みください）



〈三木証券(株) 投資情報部 投資情報課

係長 佐藤 雅己 様〉

改めまして、みなさん初めまして。わたくし投資情報部の佐藤と申します。本日は30分ほどお時間を頂きまして2018年の株式市場の展望をお話したいと思っております



18年の展望を話す前にまだ1か月残っていますが17年を振り返りたいと思います。皆さんは干支にまつわるこんな相場の格言をご存知でしょうか？それを紹介させて頂くと「ねは繁栄・・・亥で固まる」相場格言からも17年は騒がしい年になると予想されていました。確かに2016年のイギリスのEU離脱から始まって、トランプ大統領の誕生、2017年は北朝鮮問題と「申酉騒ぐ」の格言通りになったといえるでしょう。では来年、いぬ年はどんな相場になるかという投資家が「笑う」ような相場になると予想されています。もう少し詳しく見ていきます

一般的には12年周期の干支回りがなじみ深いと思いますが、実は正しい干支回りは植物の状態を表す10個の「干」と1月、2月を動物に当てはめた12個の「支」を組み合わせた60年周期となっています。だから来年の正しい干支は「つちのえーいぬ」といいます。そして「つちのえ」と「いぬ」にはそれぞれ漢字に意味が込められていて、その意味を調べましたら、「つちのえ」は茂という意味があります。「いぬ」は矛から成り立っていて、作物を刈り取ってまとめることを意味しています

これを証券会社の人間が見ると
来年は2012年から始まったアベノミクスで得られる果実が熟れに熟れて収穫の時期に入るということと解釈できます。ここでいう果実は投資家のことです。

景気的には安倍政権が目標に掲げている名目GDP600兆円に向けてぐんぐんと進むという見方もできると思います

では実際のところ過去の戌年はどうだったのか

日経平均株価の算出開始以降、戌年は1958年、70年、82年、94年、2006年これまで5回。その成績は4勝1敗となっています。また今回の戌年は58年と似ていると感ずります。株価が40%上昇する展開は考えづらいが、政策が経済成長を後押しして過去5回の平均並み、約10%上昇はあり得ると考える

仮に今年の12月末の株価が2万3000円で終えて10%の上昇を見せてくれるなら来年の12月の日経平均株価は2万5300円に到達する計算になる。

干支だけで相場が上昇するなら苦労しないですが、今回は10%上昇してもおかしくない理由がまだあります

これは日本、アメリカ、ドイツの株価指数の2013年5月から足もとまでの株価推移です。何れも右肩上がりです。2013年と比べれば全ての指数で二桁上昇となっています。この上昇の背景のひとつには各国中央銀行による金融緩和があります。金融緩和によってじゃぶじゃぶになったお金は株式に流入し、株高を支えた。一方で緩和をやりすぎればインフレが止まらなくなる恐れもあるため、景気がよくなり始めたら緩和を縮小に向かわせないといけない。

チャート上の太い矢印をご覧ください。既に米国では景気回復の兆しが見えたため、2013年5月に当時のFRB総裁だったバーナンキ氏が緩和縮小を示唆しました。その後も米国経済は力強い成長を見せました。14年10月に量的緩和を終了し、今年7月にはお金をばらまく代わりに買った米国債などを圧縮し始め、金融正常化に向かっている。欧州でも10月から緩和縮小が開始し、日本はまだと思われるかもしれないが、日銀が金融政策の目標を量から金利に変えたことによって市中に供給されるお金はどんどん減っている。(ステルス・リンク)

先ほど金融緩和が株高を支えたと言いましたが、今はこの逆が起こっている。お金が出ていくので本来なら下落してもおかしくない。ところが株価は順調に右肩上がり続けている。株価は経済の体温計と言われているので、この右肩上がりの上昇は経済成長への強い信任の証拠といえるでしょう。

経済の堅調さは様々なところに現れている

例えばこれは、国際通貨基金(IMF)が定期的に公表している世界経済の見通し。17年GDPは世界全体で前年比3.6%増加する見通しで、16年の成長率より加速する予想となっている。18年は17年よりさらに成長が加速し、成長率は3.7%になる見通しになっている。このサイトには載せていないが、IMFは4月にも同じように成長の見通しを公表。その時よりも全体では0.1%上方修正されていて、日本、中国、欧州、東欧の上方修正幅はほかより高い0.2%だった。

これまで中国やインドなどの新興国が世界経済を引っ張ってきたが、今回は全世界的に景気が回復していることがわかります。

続いて少し視点を変えて、今度はミコの方から経済の堅調さを確認していきたいと思えます

これは日本の大企業における配当金の総額の推移です。日本がバブルにあった1989年度の配当額は2兆6800億円となっております。それが昨年度には15兆5000億円とバブルの時の6倍になっています

上場企業の配当は、売上から原価を引いて、従業員の給料を支払い、借金がある企業はそれに充てて、そうやって残った利益から出すのが基本。そしてこの配当が増えているということは、つまり企業が稼ぐ利益が年々増加していることの表れでもあります。また、最近のものいう株主の登場で変わりつつあるのですが、日本の企業は保守的で安定配当を目指す傾向があるように思う。言い換えると減配を極端に避ける傾向ということ。ですがこうした、保守的な企業が増配を行うときは先々の自信の表れではないかと考えております。

さて、また株式市場に目を戻します。これは日経平均株価と採用銘柄一株当たりの利益(EPS)の推移になります。投資家が株式の割高感や割安感を測る際によく使う指標としてPERというものがあります。株価をEPSで割って、利益の何倍まで株が買われているかで割高・割安を判断します。日経平均は先月、25年ぶりの高値となる2万3382円を付けました。市場参加者の中には緩和マネーの流入や日銀の株式買い入れで国内株式市場はいびつになっていると言う方もいらっしゃいますが、私は利益成長に支えられた健全な上昇と考えます。

現にチャートを見ると日経平均はこんなにも大きく上昇しているにも関わらず、足もとのPERは14.9倍にしかになっていない。1989年のバブルの時のPER80倍や2000年のITバブルの時の100倍以上と比べれば今の株価上昇がいかにも地に足が着いたものかお分かりになると思えます

そして2018年の日経平均株価は、企業業績からも2万5000円の評価は可能と考えます。足もと日経平均株価の今期予想EPSは1520円となっております。個別企業を調査するアナリストの業績予想をまとめたところ来期は7~8%の増益になるのではないかと考えられます。

仮に来期10%の増益となり、PERが15倍まで評価されたならば、来年末の日経平均株価は赤枠で囲った2万5151円となります。ちょうど干支を使って計算した水準と同程度になりました。

アベノミクスが始まって以来、日経平均株価のPERはおおむね14~16倍で評価されてきたので、PER15倍という数値に違和感はないと考えますし、これまで説明してきた通り今は世界同時景気回復の真っただ中にあります。10%増益という仮定も無理なものではないでしょう。来年は今年と同じく利益成長に合わせた着実な上昇が期待できると考えている。

ただ、今、株式市場に無数のリスクが存在しています。例えば、北朝鮮の挑発行為、中東での紛争、トランプ大統領のロシア問題、ブレグジットの行方、など様々あります。

その中でも先進国に共通するリスクに潜在成長率の低下があります

潜在成長率とは今ある労働力、機械、資本、技術を全て投入して実現できる成長率のこと。短期的に数値が上下することはなく、長期的な成長力を測るものとされている。潜在成長率は3つの要素で成り立っています。ひとつが労働投入量、ひとつが資本ストックつまり設備投資の累計額、そしてそれ以外です。全要素生産は技術の項目とされており、技術革新の効果などはこちらに現れます

日本と米国とドイツの潜在成長率を見ると米国がやや高いものの資本ストックの蓄積が足りないことや人口減少が進んだことで90年代と比べると大きく低下していることが分かります。

ただ、政府もこれをただ見ているわけではありません。潜在成長率を上昇させるためにいくつかの政策を打ち出しました。それが真ん中にある「人づくり革命」であり、「生産性改革」であり「未来投資会議」であります。株式市場ではこれらの政策をテーマに変換しています。そのテーマは人材関連であり、ロボットであり、AI、IoTであります。

それぞれの分野に関する企業は足もとで需要が高まっていることに加え、政策の支えで中長期的な成長が見込めると考えております

その主な関連企業はこちらになります

- ・人材関連ではリクルートに注目しています。リクルートは「インディード」という求人検索サイトを運営しています。様々なサイトにまたがっている求人情報を一括で検索できるようになっており、求人業界のグーグルのようなサービスです。毎期50%以上の増収を実現しており、成長性が非常に高い企業だと思います。

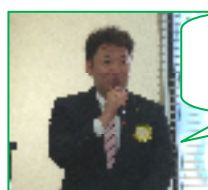
- ・ロボット関連では日本電産を紹介したいと思います。日本電産といえば小型モーターの企業ですが、近年は買収した企業の技術でロボットの部品を作っています。また自社開発したロボットの外販を計画しており、モーターとは別の収益源として期待できます。勿論本業のモーターの方も絶好調で今は車載向けに注力しています。昨日、フランスの自動車メーカーとEVの合弁会社を設立したと発表しており、EV関連としても捉えることが出来ます。

- ・AI・IoTではソフトバンク、と言いたいところですが、私はAIの肝はデータの量だと考えています。グーグルを傘下に持つアルファベットならありとあらゆる情報を取得できるため最も有望視しています

最後にまとめになります。

- ・相場格言通りなら来年は日経平均株価が10%上昇し笑って年末を迎えます。
- ・企業業績からみても2万5000円は評価できる
- ・政策テーマに則した銘柄は底堅く推移が見込まれます

ご清聴ありがとうございました



佐藤雅己様のご紹介
飯倉 正俊会員

